

受動喫煙の防止法とその社会的効果



“受動喫煙症”を考える会
2014年2月1日

九州看護福祉大学 リハビリテーション学科
川俣 幹雄

何の数字でしょうか？



1964－2012(米国)

1770万人

喫煙関連死

800万人
(CR:740-830万人)

喫煙対策で
救われた命

Holford TR, et al: Tobacco Control and the Reduction in Smoking-Related Premature Deaths in the United States, 1964-2012 JAMA. 2014;311(2):164-171

WHO

受動喫煙に関する10の事実



- 受動喫煙に安全なレベルは存在しない
- 受動喫煙によって毎年60万人が死亡している
- 受動喫煙は成人に心血管系および呼吸器系の疾患を、乳幼児には突然死をもたらす
- 約40%の子どもたちが日常的に家庭で受動喫煙に曝露されている
- 禁煙法により受動喫煙から守られていない人々は94%以上に上る、他

受動喫煙をどのように防止するか？

How to Protect Yourself and Your Loved Ones from Secondhand Smoke?

受動喫煙の危険性から、あなた自身と愛する人を完全に守る唯一の方法は、

100%禁煙の環境のみである

The Surgeon General has concluded that the only way to fully protect yourself and your loved ones from the dangers of secondhand smoke is through 100% smoke-free environments.

PROTECTION FROM EXPOSURE TO SECOND-HAND TOBACCO SMOKE

受動喫煙防止のための政策勧告 ,WHO,2007

勧告1: 換気、分煙は無効であり、有効なのは完全禁煙のみである

勧告2: すべての屋内と公衆の集まる場の完全禁煙化を義務付ける法律を施行すること

勧告3: 法律の周知と履行を徹底すること

勧告4: 家庭での受動喫煙対策を実施すること

EUにおける受動喫煙防止法の施行状況



Update 2012

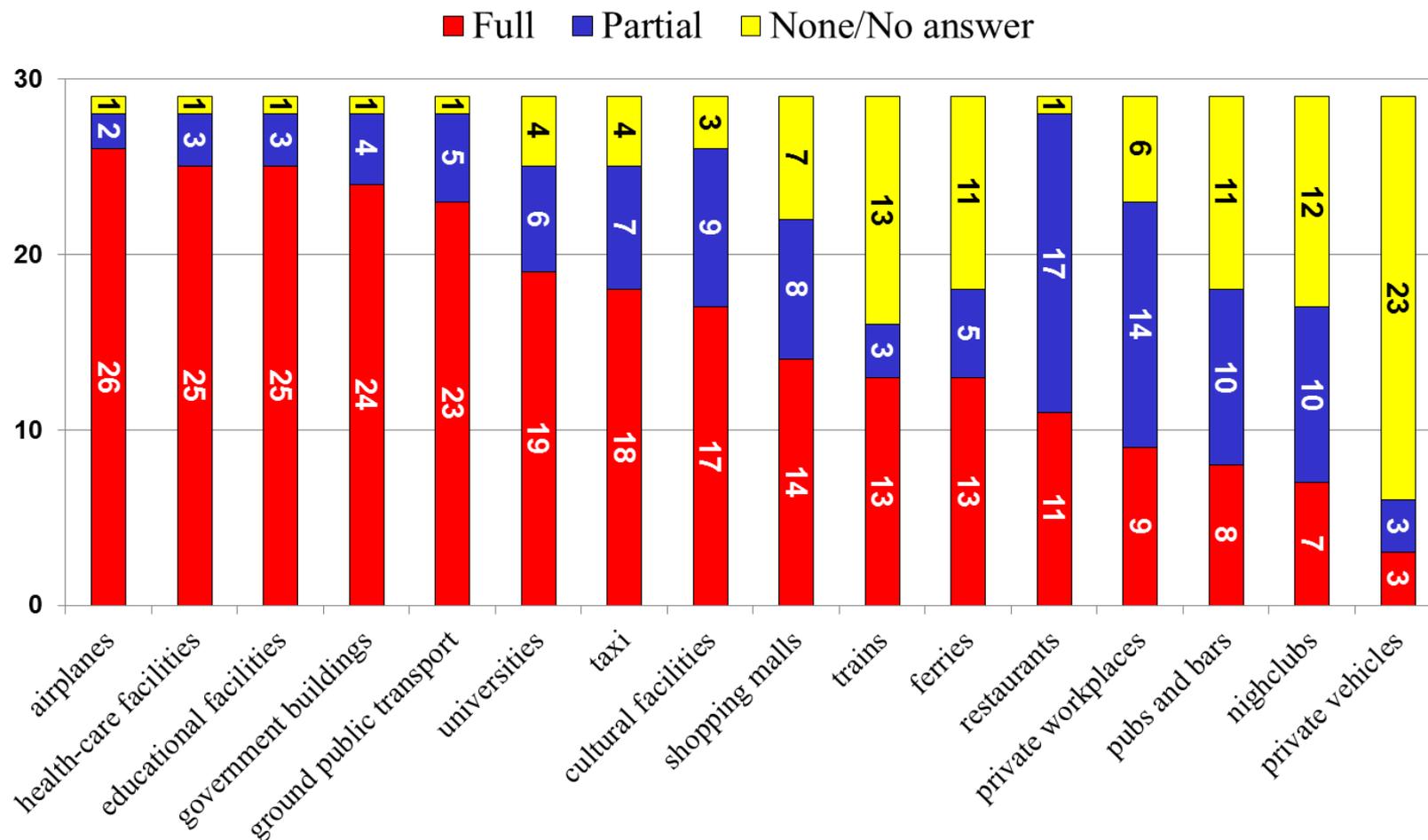
- Strong legislation
- Limited legislation
- Weak legislation

チェコ、オーストリア、
ルーマニア、マルタ

ヨーロッパ心臓病学会
のHPより引用

<http://www.escardio.org/membership/national-societies/news/Pages/Nationwide-Anti-Smoking-Campaign-in-Hungary.aspx>

アジアにおける受動喫煙防止法の施行状況



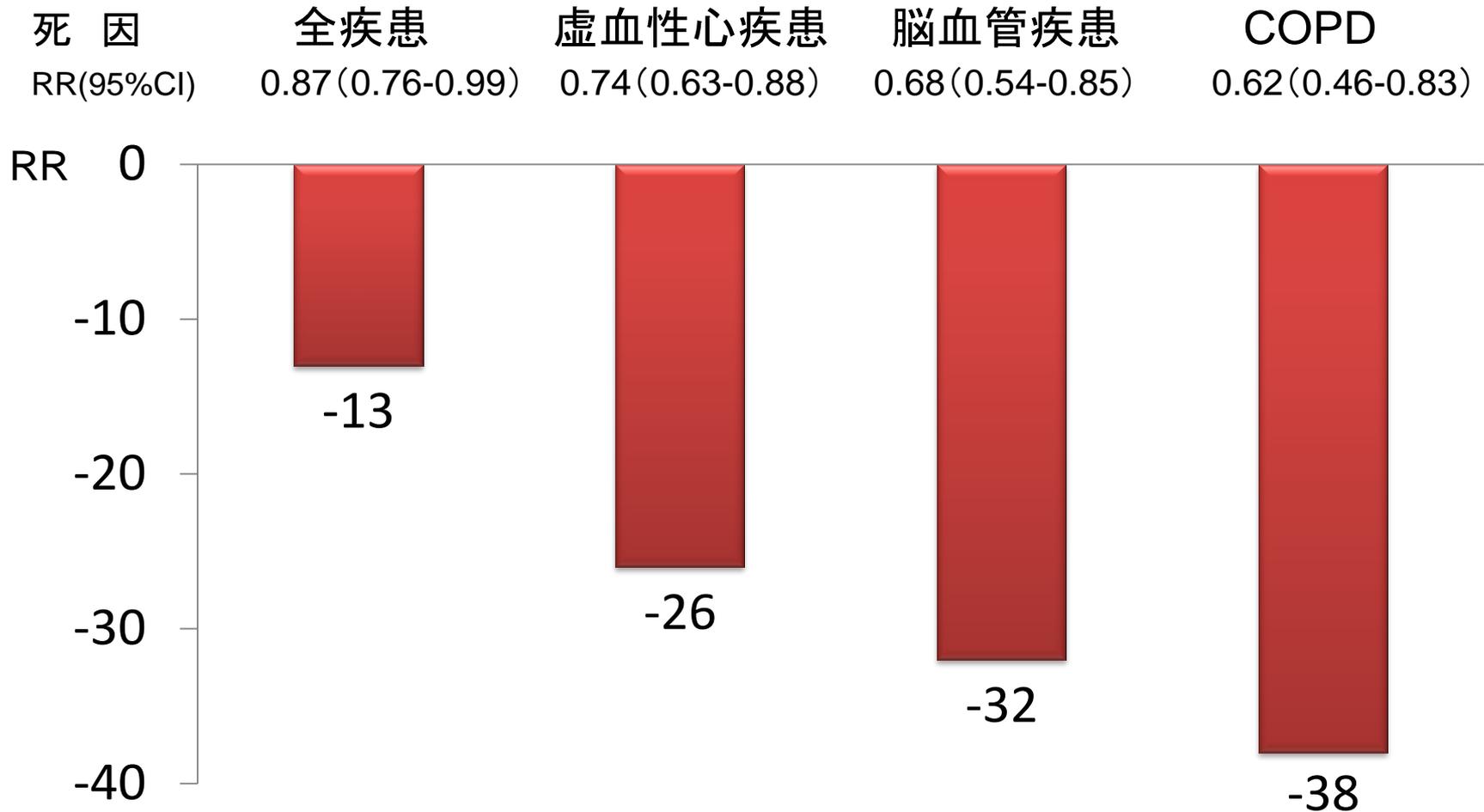
日本は？・・・ Japan answered “No” to all questions !

受動喫煙防止法(禁煙法)の効果とは？

The impacts of smoking ban(smoke-free legislation)



受動喫煙防止法は死亡率を低下させる

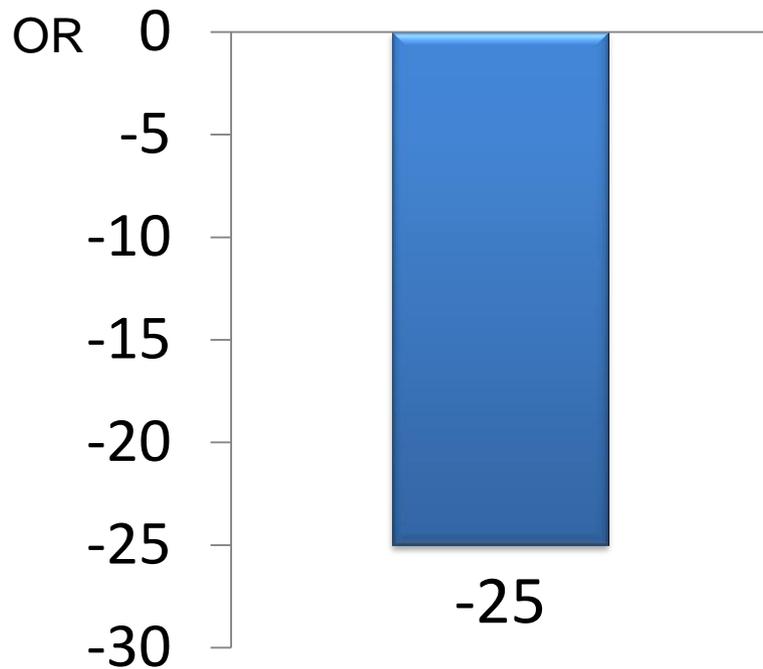


Stallings-Smith S, et al: Reductions in cardiovascular, cerebrovascular, and respiratory mortality following the national Irish smoking ban: interrupted time-series analysis. Plos One 2013.24; 8 (4), pp. e62063.

受動喫煙防止法は早産のリスクを減少させる

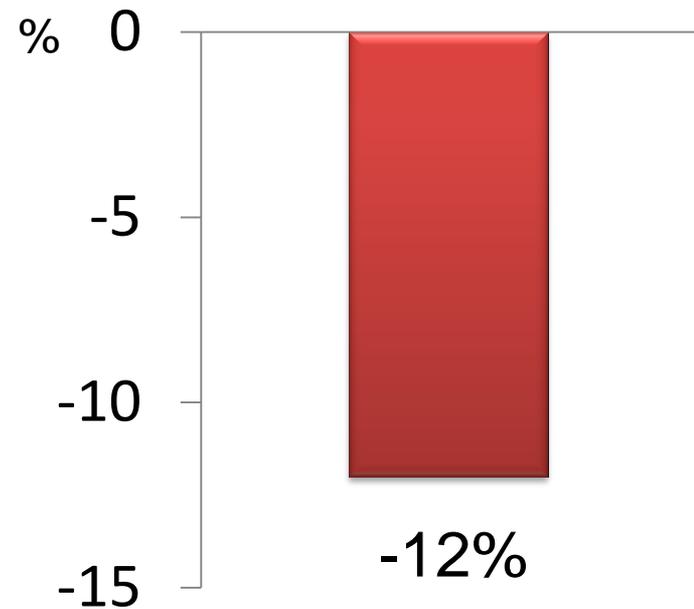
早産のオッズ比

0.75 (95%CI:0.59-0.96)



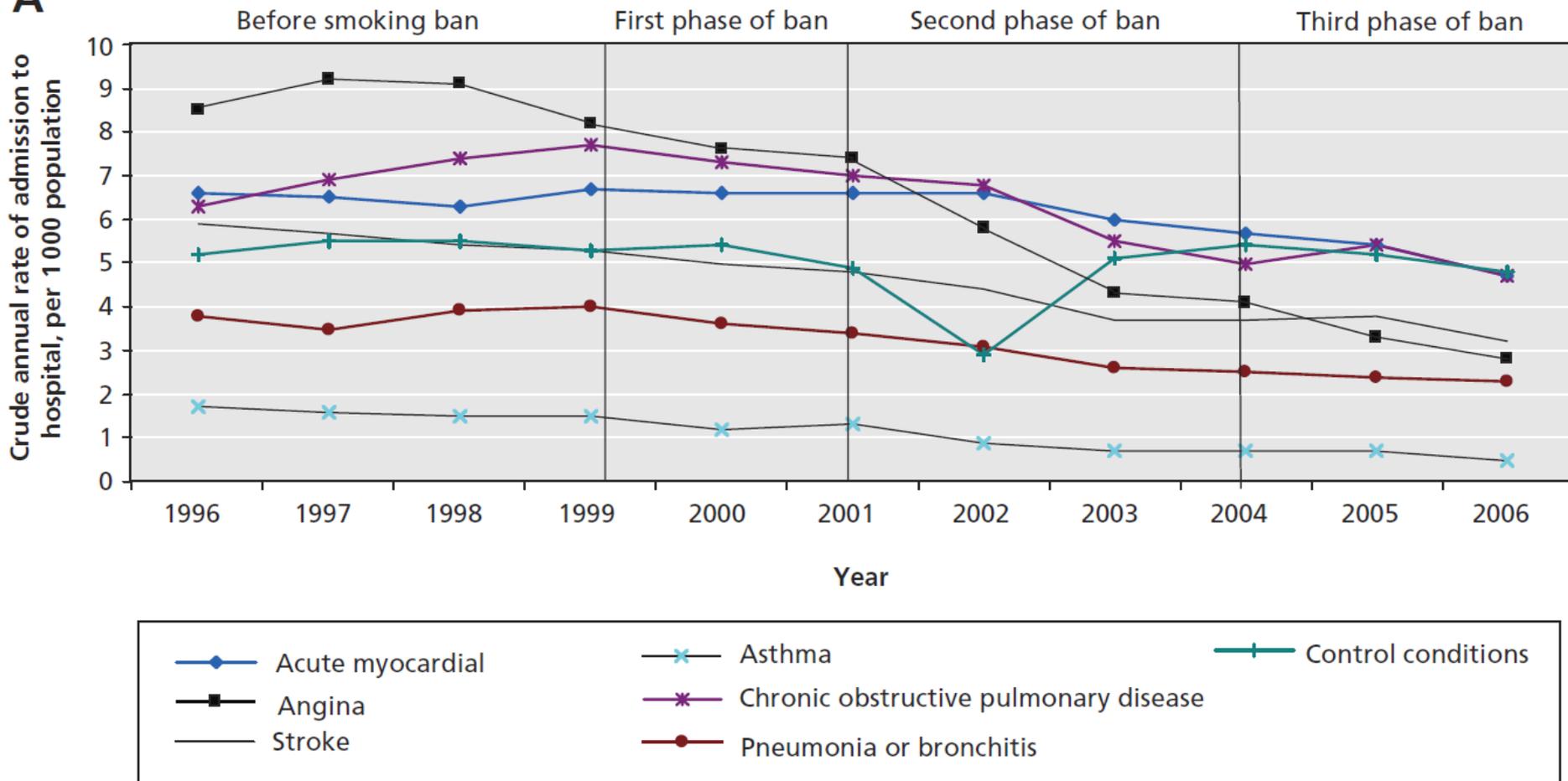
妊産婦の喫煙率

12%減少



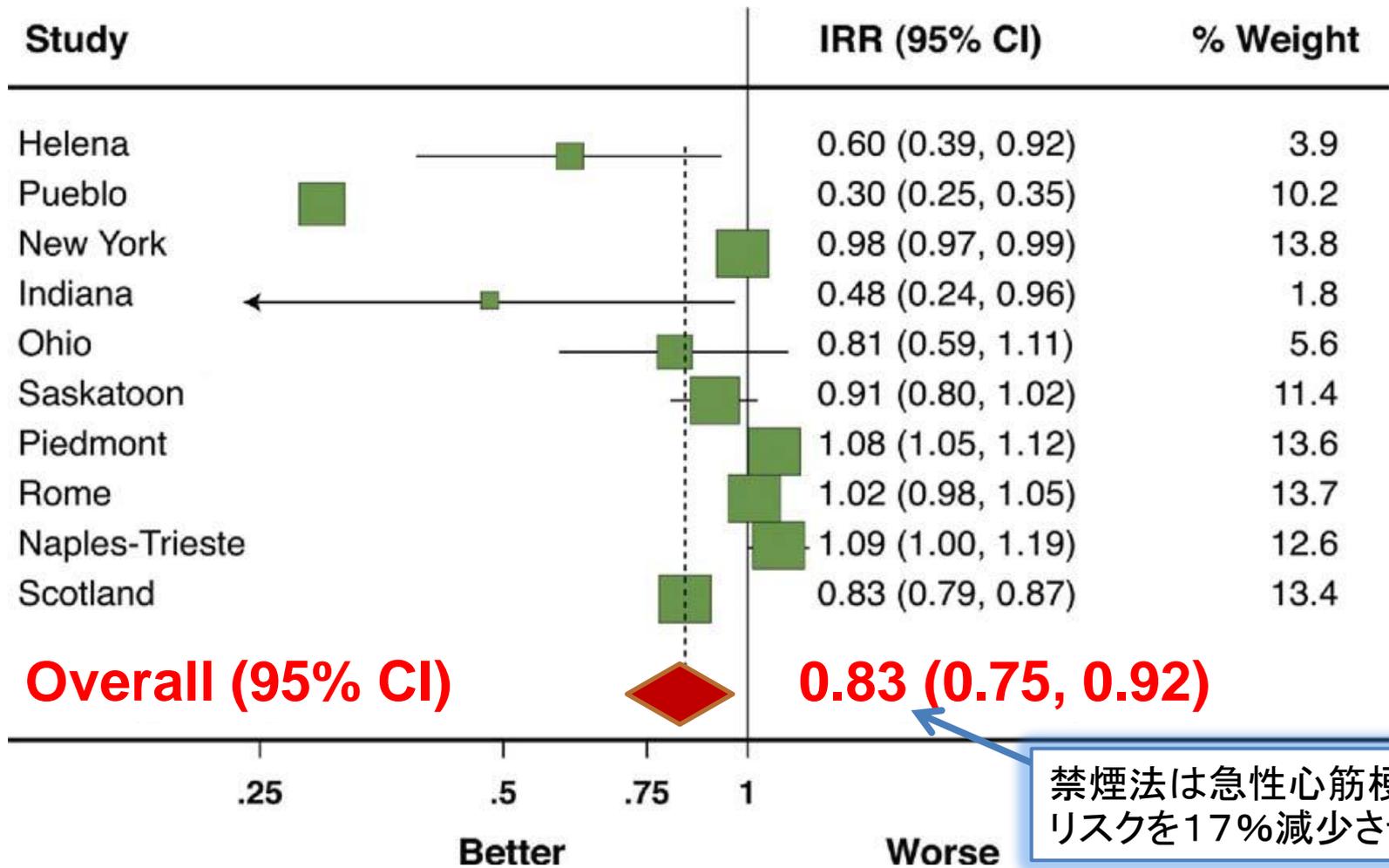
受動喫煙防止法の効果は長期的に継続する

A



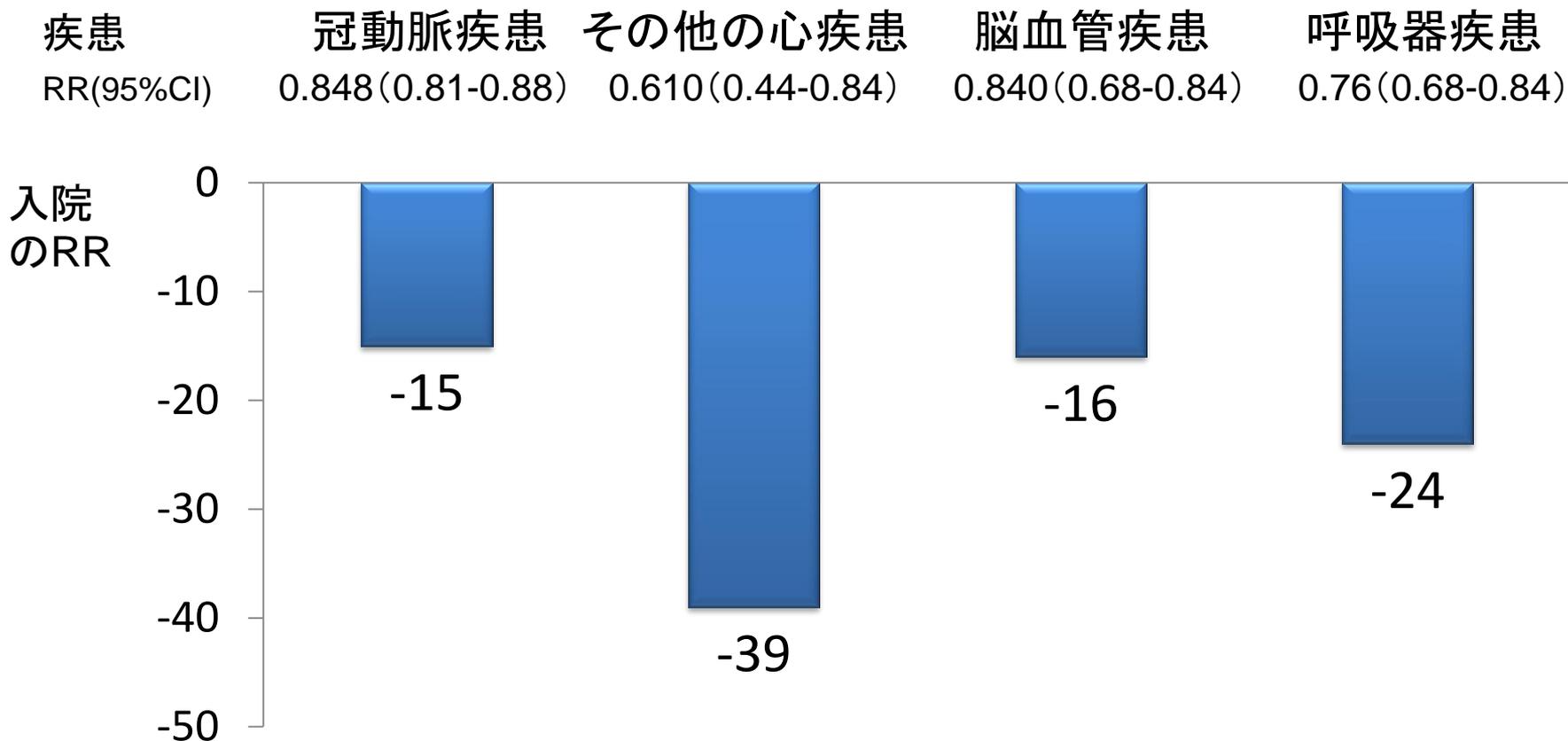
Naiman A, et al: Association of anti-smoking legislation with rates of hospital admission for cardiovascular and respiratory conditions. CMAJ 2010 .18; 182(8): 761-767.

受動喫煙防止法の効果に関するメタ分析 (Mayers,2009)



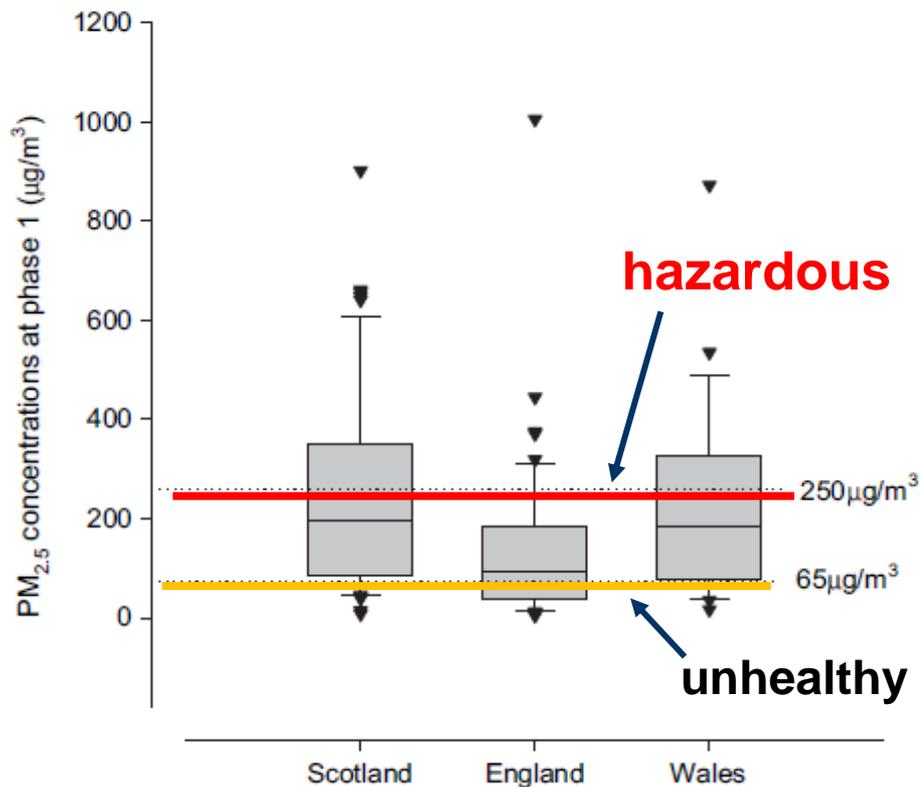
Meyers DG, et al: Cardiovascular Effect of Bans on Smoking in Public Places
A Systematic Review and Meta-Analysis. J Am Coll Cardiol 2009(54):1249-1255

受動喫煙防止法の効果に関するメタ分析 (Tan, 2012)

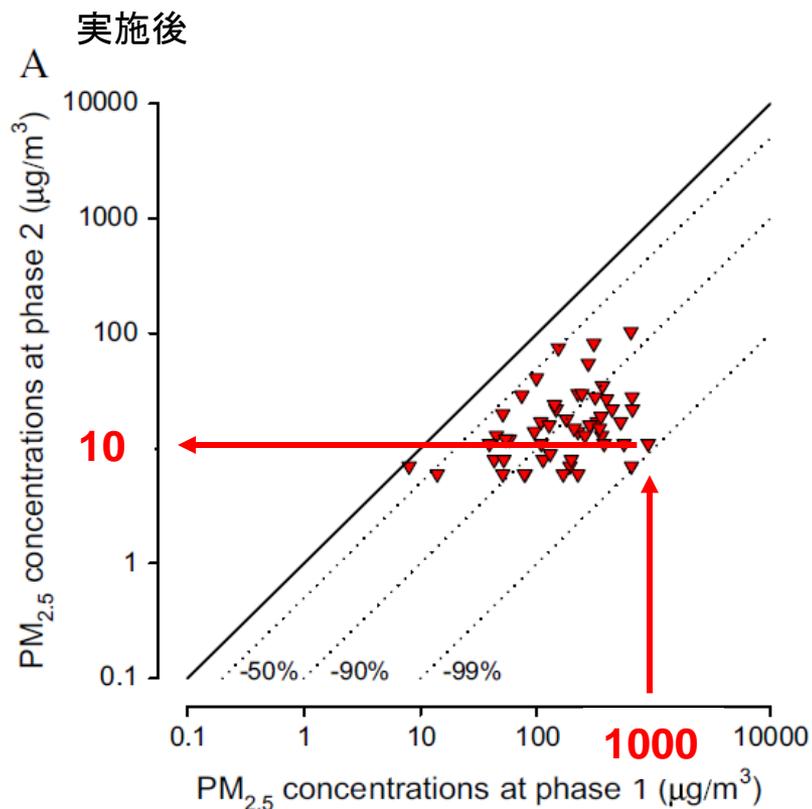


Tan CE, et al: Association Between Smoke-Free Legislation and Hospitalizations for Cardiac, Cerebrovascular, and Respiratory Diseases .A Meta-Analysis. Circulation 2012;126:2177-2183

受動喫煙防止法は室内のPM_{2.5}濃度を減少させる



実施前



実施前後の比較

実施前

受動喫煙防止法はレストラン、 バーの経営を悪化させるか？

- アラバマ州などアメリカ8州では、レストラン、バーの従業員数、収益に変化なし.西バージニアでは従業員数が約1%増加. - Loomis,2013
- イタリア国民の9.6%がカフェ、レストランに行く機会が増え、7.4%が減少. - Gallus,2006
- 49研究中47研究が、レストラン、バーの経営に悪影響はない、と結論. -Scollo,2008

結論：受動喫煙防止法は、レストラン、バーの経営を悪化も好転もさせない。(一部では好転)

受動喫煙防止法の効果(まとめ)

項目	内容
疾患	心疾患↓(急性心筋梗塞、急性冠症候群、狭心症、心臓突然死)、脳血管疾患↓(脳卒中、TIA)、呼吸器疾患↓(COPD、喘息、肺感染症、自然気胸)
空気の質	環境中の浮遊粉じん濃度(↓)、PM2.5(↓)
経済	医療費の節減、労働生産性の向上、GDP 0.515%相当(スコットランド)、1.1~1.7%相当(アイルランド)の経済効果
家庭における受動喫煙	減少(EU加盟諸国)